

## 「小児リウマチ」投稿規定

(2018年10月改訂)

学会機関誌「小児リウマチ」(The Journal of Clinical Pediatric Rheumatology) は、小児リウマチ・膠原病およびそれと深い関連を有する事項に関する投稿論文(原著、総説、症例報告)、学術集会抄録などを掲載する。

### 投稿資格

1. 投稿論文の筆頭著者は本学会の会員に限る。
2. 編集委員会は本学会の目的に添う原稿を依頼することができる。
3. 英文論文も受け付けるが、投稿前に英語を母国語とする人の校閲を受けること。

### 執筆上の注意

人を対象にした論文は、世界医師会総会(World Medical Assembly)において承認されたヘルシンキ宣言(1964年承認、2000年10月修正)の精神に則って行われた研究でなければならない。また、動物を用いた研究についても、「実験動物の飼育及び保管等に関する基準」(昭和55年3月総理府告示第6号)等を遵守して行われた研究でなければならない。

プライバシー保護に関して、「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」(外科関連学会協議会)を遵守すること。

### 投稿方法

1. 電子媒体によるオリジナル1部を編集委員会に電子メールで送付すること。
2. 原稿は和文または英文によるものとする。本文はWord、図はPowerPoint、Excel、またはWordで作成すること。Mac、Windowsいずれも可。
3. 受理された原稿一式は、原則として返却しない。

### 原稿送付先

原稿は、下記アドレス宛に送付すること。投稿時に「チェックリスト」を添付すること。

日本小児リウマチ学会ホームページ 学会誌からダウンロードできる。

(<http://plaza.umin.ac.jp/praj/journal/>)

日本小児医事出版社内

日本小児リウマチ学会編集委員会

TEL 03-5388-5195, Fax 03-5388-5193

E-mail: [tsato@shoni-iji.com](mailto:tsato@shoni-iji.com).

### 執筆要領

1. 論文の刷り上がりの組上り(図、表、文献を含む)として原著・総説は6ページ、症例報告と本学会二次抄録は4ページまでを原則とし、無料とする。
2. 本文の刷り上がり1頁は400字詰め原稿用紙のほぼ4枚に相当する程度であり、図、表を適度に配置する。
3. 投稿原稿の本文は、必ず左横書、和文または英文とし、和文の場合は明朝体(12ポイント)で常用漢字・現代仮名遣いを用い、図表の説明・図表内の文字は英文を用いること。用語は日本リウマチ学会、日本小児科学会などの用語集を参考にすること。原稿・図表のサイズはA4版をこえないように印刷設定をし、原稿には必ずページ番号を入れること。
4. 1論文につき5個以内のkey words 5

- 語以内（日本語および英文）をつけること。簡明な和文抄録（研究目的，方法，成績，新知見などの要点を450字以内にまとめる）と，それに対応する英文抄録（250語前後）とを必ず添付すること。
5. 原稿1枚目に標題（原則として略語を用いないこと），著者名（ふりがなつき，英文著者名），所属機関名（研究室名，教室名を含む，英文所属名），25字以内の英文簡潔標題（brief title for a running head）別刷請求先（住所・氏名）を記載すること。
  6. 原稿2枚目に論文中のKey words（5語以内，日本語および英文），および原稿中の略語（およびその全綴り）をABC順に配列し記載すること。Corresponding Author（責任著者）の住所，氏名，電話番号，FAX番号，E-mail addressを記入すること。Corresponding Author は論文の審査過程に関わる連絡担当者となるほか，全著者を代表して当該論文の責任を負う。
  7. 原稿3枚目により本文を記載すること。次の順序で構成すべき項目。和文抄録（450字以内。原著は構造化抄録：背景，目的，方法，結果，結語），緒言（はじめに），研究対象，方法，結果，考察，（謝辞），引用文献（表記方法は投稿規程を確認すること）。図表（説明文は英語とする），英文抄録（250語以内，原著論文の場合は構造化抄録）。
  8. A4版1段（本文数字は，1桁は全角。2桁以上は半角）。
  9. 記述は楷書体（英文は活字体），現代かなづかい，かな交り，横書きとして，簡明を期すること。
  10. 略語は文中初出時に全綴りの後に（）内に記し，以後は略語のみ記載する。
  11. 外来語および外国人名で慣用訳のないものは原字そのままを用いること。文中の外来語は固有名詞（人名，商品名など）を除き，原則として小文字を使用すること。
  12. 数字は算用数字を用いる。度量衡の単位はCGS単位  
で，m，cm，mm，cm<sup>2</sup>，mL，dL，kg，g，mg， $\mu$ g，pg，ngなどを用い，各符号の後に省略記号（.）をつけないこと。容積の単位に[ L ]を用い，長さ，重量，容積，濃度等の単位は，数字との間にスペースを空ける。例：10 m，4.0 kg，30 L，20 g/L。ただし「37°C」や「50%」のように °C と % と数字の間にスペースは空けない。
  13. 年齢は，日齢○，○か月，○歳とすること。年齢別呼称については原則として，（4週未満：新生児），（4週～1歳未満：乳児），（1～12歳：男児，女児），（13～18歳：男子，女子），（19歳以上：男性，女性）とすること。
  14. 有意確率の表記。P 値，P value とする。（ $P < 0.05$ ， $P < 0.01$ ）
  15. 写真はモノクロ，カラーのいずれも受けつける。
  16. 表の題名はその上部に記し，その説明はすべて下部に記載すること。図（写真）の題名および説明は別紙に記載すること。
  17. 表・図（写真を含む）は原稿文中に含まず，別に印刷して提出すること。
  18. 図表などの挿入箇所は，原稿用紙の欄外にもFig. 1あるいはTable 1などと記

載すること。

#### 文献記載の様式

1. 文献は本文の引用箇所に1), 1-3), あるいは(1), (1-3)の番号で引用順に示す。なお, 末尾文献表は論文中に引用されたものに限る。引用した文献は, 本文中においては順次に番号をつけ, 本文の終りに番号順に列挙し, 文献ごとに著者名, 標題, 雑誌名, 年(西暦), 巻, 頁一頁, を明記すること。共著者名は6名以内の場合は全員列挙すること。7名以上の場合は最初の3名を連記し, ほかは和文では・・・他, 欧文ではet al. とする。

雑誌は, 著者名, 論文名, 雑誌名(欧文誌はIndex Medicusによる著者名を, 和文誌は公式の文献略称を用いる), 単行本は, 著者名, 題名, (編者), 書名, 出版社名, 発行地, 年, 頁(初めと終わり)の順とする。文献作成支援のために, EndNoteのスタイルテンプレートが, 学会ホームページからダウンロードできる。

<http://plaza.umin.ac.jp/praj/journal/>

[例]

- 1) 浦野博央, 加藤政彦, 鬼形和道, 他. ターナー症候群に若年性特発性関節炎を合併した1女児例. 日児誌 2006;110:425-429.
- 2) 渡辺言夫. 全身性エリテマトーデス(小林 登, 多田啓也ほか編). 新小児医学大系 第22巻B 小児膠原病学II. 中山書店, 東京, 1984:3-20.
- 3) Maeno N, Takei S, Imanaka H, et al. Increased interleukin-18 expression in bone marrow of a patient with systemic juvenile idiopathic arthritis and unrecognized

macrophage-activation syndrome. Arthritis Rheum. 2004 ;50:1935-1938.

[注]誌名の後は, 年; 巻: 頁一頁. の順に並べ, またそれぞれの間にスペースを入れなくて1 word とする.

- 4) Cassidy JT, Petty RE.: CHRONIC ARTHRITIS IN CHILDREN. In Textbook of Pediatric Rheumatology, 5th Edition. eds. Cassidy JT., Petty RE, Laxer RM, Lindsley CB. W B Saunders Co., Philadelphia, 2005, pp.206260

[注] 出版社名, 発行都市名, 頁. の順に並べ, それぞれの間にスペースを入れる.

- 5) [WEBの引用]  
日本リウマチ学会. “免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン(改訂版)について”. 入手先 (<http://www.ryumachi-jp.com/info/news110926.html>), (参照 2013-02-12)
2. 既発表の図(写真を含む), 表, その他を引用, 転載される場合には, あらかじめ著作権所有者の許可を得ること。また, 図表タイトル(解説文を含めて)の後に, 以下の例にならってその旨記載すること。例:  
(Cassidy JT, et al.<sup>3)</sup> 2004より引用, 改変)
3. 印刷の校正については, 初校は著者において行うが, 文章の削除, 挿入などは許されない。再校は原則として編集委員会がこれを行うこととする。

#### 委員会報告ならびに地方会・研究会などの抄録掲載

委員会報告は原則として刷り上がり8頁以内とする。活動報告などの広報的内容と異なる 診断基準, 治療指針, 手引きなど臨床的影響が高い内容は, 理事会採択後に受けつける。

地方会ならびに各種研究会の抄録は、題名、発表者名、所属を含め1題400字以内とする。

#### 掲載料

1. 原則として無料とする。著者には該当のページのPDFファイルを付与する。
2. 別刷の作成は有料とし、別刷を希望する場合は編集事務局へ依頼し、部数・別刷請求書の宛名・送付先住所を伝えること。
3. 体外診断薬、新薬開発、薬品の適応拡大や再評価のための臨床治験に関するもの等で、学会誌編集委員会にて営利性が認められると判断された論文の掲載は、全頁有料とする。
4. 特別な文字、記号、図、その他特別注文のものは実費を別に徴収する場合がある。
5. 掲載料が発生する場合の請求は論文掲載後に行う。

#### 本誌に掲載された論文の著作権

1. 掲載論文および委員会報告などの著作権（著作財産権、複製権、有線放送権）は、本学会に帰属する。
2. 掲載論文は学会ホームページからインターネット配信により二次利用をする。

#### 原稿の採否、掲載の順序

原稿の採否、掲載の順序などは複数レフェリーの意見を参考にし、編集委員会において決定する。原稿（図表などを含む）の体裁、長さ、文体、図・写真などについて著者に改変を求めることがある。査読が終了した論文は、最終原稿の提出をすること。当著者には、編集委員会から採否を通知する。

#### Secondary publication について

1. 本誌に受理された論文を英語で他雑誌に投稿する場合、著者は日本小児リウマチ学会雑誌編集委員会に他雑誌へ投稿予定の論文を提

出の上許可を得ること。

2. 英語で書かれた論文は日本語論文のデータ並びに解釈を忠実に反映したものでなければならない。
3. 英文化された論文のタイトルは日本語論文の secondary publication であることがわかるようタイトルの冒頭に complete republication を記載する。
4. 英文化された論文の title page の footnote に、既に掲載された日本語論文の英文化であることを記載する。たとえば、This article is based on a study first in the The Journal of Clinical Pediatric Rheumatology, with full reference. という footnote を掲載し本文中に引用する。
5. 著者群は同一でなければならない。

#### 利益に関する開示文書

日本小児リウマチ学会利益相反の開示すべき項目

該当しない場合には、「日本小児リウマチ学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。」と論文の末尾に記入する。

該当する場合には、「日本リウマチ学会の定める利益相反に関する開示事項に則り開示します、（企業名）から（〇〇円。」と論文の末尾に記入する。

#### 利益に関する開示文書

日本小児リウマチ学会利益相反の開示すべき項目

- 1 産学連携活動に係る受け入れ額が、1 企業あたり年間 100 万円以上（所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額）の場合。
- 2 コンサルタント、指導、講演。給与としての個人収益が、1 企業あたり年間 100 万円以上（税金や源泉徴収額を引く前の金額）

の場合.

3 産学連携活動に係る個人収益（公開・未公開を問わず,当該企業の株式等の出資・取得・保有及び売却・譲渡,ストックオプションの権利譲受,もしくは,役員報酬,特許権使用料等）が1企業あたり年間100万円以上あった場合（但し,投資信託,もしくは,当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く.

4 上記1~3のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合該当しない場合には「日本小児リウマチ学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。」と論文の末尾に記入する。該当する場合には「日本小児リウマチ学会の定める利益相反に関する開示事項に則り開示します,（企業名）から（〇〇円）。」と論文の末尾に記入する.

学術集会演題,機関誌投稿論文,いずれの場合も,個人収益の場合は,前年の1月1日から12月31日まで,ただし,寄付金や企業からの受託等,産学連携活動に係る研究の場合は,前年4月1日から本年3月31日までの期間でも可.

5 細部は「日本小児リウマチ学会 利益相反に関する規則：2018年11月1日施行」を参照のこと.

#### 編集委員会

発行人 日本小児リウマチ学会

日本小児リウマチ学会編集委員会

顧問 有賀 正

編集委員長 稲毛康司

副編集委員長 坂東由紀

編集委員 小林法元

清水正樹

中岸保夫

山崎崇志

原稿送付先

〒160 - 8306 東京都新宿区西新宿 5-25-11

和光堂西新宿ビル 日本小児医事出版社内

「小児リウマチ」編集部

TEL 03-5388-5195, Fax 03-5388-5193

**E-mail: tsato@shoni-iji.com**

(2018年10月1日改訂, 2018年11月1日から実施)